

R I 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

2004-05 年度 国際ロータリー会長
グレン E. エステス・シニア

NO. 2 0 3 9

例会 2005 年 6 月 22 日(水)

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

事業実績報告 各委員会委員長

一年間を振り返って 会長・幹事

次回 6 月 29 日(水) 予告

最終例会 午後 6 時 30 分より

於: 糶屋

鈴木・大串年度テーマ

『原点に戻ろう！』

そしてさらなる飛躍を！！』

6 月の会長ポイントメッセージ

一年間ご苦労様、そして有難うございました！
立つ鳥跡を濁さず！！

6 月は親睦活動月間です。



田上秀雄カウンセラーと米山奨学生の孫 洋さん

2004 ~ 2005 年度

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

会長 鈴木

豊

幹事 大串

卓

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 2004-2005 年度事業実績報告

* 誕生祝

各委員会委員長

ピジター

米山奨学生 孫 洋さん



誕生祝

会員 山崎進朗会員 鯉沼和義会員
和久事務局

幹事報告 (大串 卓幹事)

週報受理 水戸RC、水戸西RC、藤代RC、石岡87RC

例会変更通知受理 藤代RC 6月27日(月) 午後7時より 取手市 サルデーレ
7月18日(月) 休会

牛久RC 6月20日(月)午後7時より 愛和病院内 レストランテラス

牛久RC事務所変更のお知らせ 平成17年7月1日より、「甲子亭内 牛久ロータリークラブ」
〒300-1236 牛久市田宮 49
TEL & FAX 029 - 871 - 3637

会長挨拶 (鈴木 豊会長)

こんにちは！！

いよいよ私年度も秒読み段階となりました。一年間のお付き合い誠に有難うございました。

中国からお客様がお見えになっております。「孫さん、ようこそ当クラブにお越し頂きました。会員一同で御歓迎申しあげます。後程、自己紹介をお願いします。」

さて、6月1日今年度最後の理事会を開き、次の事項が決まりました。報告致します。

1. 新会員の推薦が1名出ております。会員選考、職業分類へと回しました。
2. 白沢さんにつきましては、入会までには至りませんでした。

今日は、事業報告が盛りだくさんのため、会長挨拶は短目と行きますが、一つだけ嬉しいことがありました。ロータリーの創立100周年を祝うため、国際ロータリーでは「奉仕への貢献に対する表彰」を創設いたしました。本賞を意義ある表彰とするために、国際ロータリーでは受賞者数に制限(1地区5名のみ)を設けました。表彰の目的と条件は下記の通りでございますので、クラブから1名の推薦をお願い申し上げます。目的……25年以上の会員歴をもち、ロータリーの理想とクラブに対して確固たる支援を与え続けてきたロータリアンを表彰するものです。

「良き水海道クラブの伝統「和」を作り上げた人でもあります。出席率はいつも100%であり、おごらず、いつも謙虚であります。皆から好かれ第8分区の中では有名人です。尊敬する方で、真のロータリアンとおもっております。」隅屋祐三会員です。

表彰 おめでとうございます。



米山奨学生紹介・挨拶



プロフィール

孫 洋さん

母国：中国遼寧省瀋陽市

現住所：つくば市天王台

筑波大学 人間総合科学研究科社会環境医学専攻

始めまして、中国の瀋陽から来ました孫 洋と申します。私は2000年9月に日本に来て、今は筑波大の博士コースの4年生です。専門は医学です。中国医科大学では臨床医学を勉強していました。日本に来てから社会医学に変わり、今は汚染物質による人体に与える影響についてというような、社会環境医学を学んでいます。一年間米山奨学生として宜しくお願いします。

2004 - 2005年度 委員会事業実績報告

クラブ奉仕1委員会 (青木清人委員長)

RIのテーマの下に、ガバナー、クラブ会長の方針に基づき、各委員会はそれぞれ活発な活動をされた事、各委員長さんに御礼申し上げます。

7月31日には、2000回例会をロータリーファミリーと共に、RIテーマに沿って60名の参加を頂き、東京・椿山荘にて盛大に開催する事が出来たのは、大きな成果と思っています。また、1月26日クラブ奉仕1委員会を開催し、魅力あるクラブ運営について皆様から貴重なご意見を聞く事が出来ました。次年度の活動に活かして行きたいと思えます。



職業分類委員会 (中川莞爾委員長)

当委員会は、今年度特に地域の実情を良く勘案し、分類表を会員増強しやすいよう、大幅な変更を行った。

分類項目数	69～46に
充填項目数	50～42に
未充填項目数	19～4に



新会員の職業分類は次の通り

北村英明氏	化学繊維製造
関根 淳氏	銀行
穂戸田好範氏	食品販売

会員選考委員会（長塚 暁委員長）

前期におきまして2名の推薦、後期におきましては1名の推薦があり、委員会で承認されました。



ロータリーファミリー会員増強委員会（松坂興一委員長）



当委員会の責務は、新会員の増強にあります。今年度純増3名を目標に掲げ活動して参りました。然しながら、残念なことに年度の終わり近くになって退会者が続き、3名入会、3名退会、という残念な結果となりました。然しながら、候補者は数名あり次年度には入会が期待されるところであります。次年度委員会の活動が期待されるところであります。

ロータリー情報委員会（小島富雄委員長）

今年度、ロータリー情報委員会の年間における実績を報告致します。事業計画書に記載の通り、会長方針ワンポイントメッセージに基づき、4つの目標を上げて情報活動をさせて頂きました。

1. 新入会員及び先輩会員の情報集会、前後期一回ずつ行うこの事につきましては、前期1回9月21日靴屋にて20数名の参加にて行いました。
 2. プログラム委員会と連絡を取り、3分内の情報の提供ですが、情報委員会は裏方に回り、会長・幹事、その他実力会員皆様方が情報の提供をしていただいたのではなかろうかと思っています。
 3. 情報の外部活動につきましては、地区の坪田委員長に卓話を頂きました。
 4. 入会のしおりを作成し配布する。この件は、会員皆様にご協力して頂き配布をしました。
- 一番目の目標である情報集会ですが、後期残すところ少ないのですが実行したいと思っております。以上で報告終了させて頂きます。有難うございました。



出席委員会（角田雅宣委員長）

本来の主旨である、100%例会出席に限りなく近づくための努力として年初に計画した

1. 恒常的欠席者数名に、より積極的なアプローチ
2. 100%実質出席例会日の達成

上記二項目に対し、残念ながら1については大きな成果を見ることは出来ませんでした。2は会員皆様のご協力により、ガバナー公式訪問日即ち10月6日(水)に達成出来ました。感謝致します。出来れば次年度以降も、例会100%実質出席者を達成するための特定日を、年に一度設定するのは如何と思います。本年度の報告にあたり、山野井副委員長、横山委員の多大なるご協力に深く感謝致します。



クラブ会報委員会（斎藤広巳委員長）

クラブ会報委員会は、毎例会の様子や活動内容を週報として編集、発行する事で、ロータリー活動の記録・親睦・情報伝達の充実を図り、併せて他クラブとの情報の授受並びに一般社会への情報の発信を行ってきました。本年度は、会長より週報内部充実と、クラブ歴史、記録の充実の二つのメッセージを頂きました。週報内部充実については、見易さをポイントに写真を出来るだけ多く取り入れるようにし、クラブ歴史・記録の充実については、卓話の意図内容を正確に記録するために、卓話者に原稿を提出して頂きました。カメラに笑顔頂いた会員の皆様、卓話に原稿を頂いた皆様、ご協力に感謝申し上げます。一年間有難うございました。

雑誌委員会（鯉沼和義委員長）

1. ロータリーの友のクラブ内浸透を図るため、記事の紹介並びに投稿への参加を勧めた。
2. ロータリーの友を、水海道市役所、水海道市立図書館、水海道第一高等学校、水海道第二高等学校への配布を行い、ロータリー活動の理解を深める活動を行った。
3. ロータリーの友の理解を図るため、雑誌月間である4月第1週にロータリーの友手引書を引用し卓話を行った。



広報委員会（松村仁寿副委員長）

当委員会は、地域社会が何を求めているかを良く見聞きし、クラブへの理解・認識そして支援を得ることと思い次のことを行いました。

1. 各委員会のプログラムを地域社会に広報するため、水海道市役所、各種報道機関への情報の提供
2. ロータリーの友、クラブ週報等を市立図書館、水海道一高・二高への配布をしました。
3. ガバナー月信NO3号で、水海道ロータリー2000回例会の様子を紹介できました。当クラブの事業をガバナー事務所に送付し、広報活動を図りました。



ロータリー財団（松村仁寿委員長）

ロータリー財団の使命は、国際レベルの人道的、教育的、文化的プログラムを通して、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの事業を支援する事を目的としております。これらを念頭に置き、財団の目的等を会員の皆様方にご理解を頂き、ご協力を賜りましたこと誠に有難うございました。

1. ロータリー財団の情報を会員に提供し、理解とプログラムへの積極的な参加をお願いした。
2. 世界社会奉仕(WCS)プロジェクトの推進 ワンコイン寄付を継続し、その基金を有効活用させて頂きました。
3. クラブ寄付目標会員一人当たり\$130(\$264)を達成、また、全体で\$10,000(\$13,202)の目標達成
4. ベネファクター2名、ポールハリスフェロー3名、マルチプルポールハリスフェロー4名
5. ポリオプラスにおける更なる前進
6. ロータリーカードの推進
7. 100周年記念社会奉仕プロジェクトの推進

社会奉仕委員会（秋田政夫委員長）



1. 平成16年10月29日、前年度に続いて第2回水海道ロータリークラブ杯、水海道グランドゴルフ大会を高齢者の方々対象に開催しました。参加者総数は150名でした。
2. 平成16年10月30日～11月3日、4日間ロータリー100周年記念事業の一つとして中心市内においてネパールの子供達の絵画展、並びに水海道ロータリークラブ42年の歩みと称しパネル展示、また新聞折り込みによる活動PRをしました。

鈴木会長の期待、念願でありましたRI会長賞には残念ながら届きませんでしたことが唯一心残りです。

3. 平成17年5月22日、第2回水海道ロータリークラブ杯、谷和原村グランドゴルフ大会を中高年者対象に開催しました。参加者総数は100名でした。水海道、谷和原両グランドゴルフ大会も、2年継続ということで地域社会においてロータリー活動への新たな認識が高まったものと感じられます。

米山奨学会（五木田利明委員長）



米山功労者を多数輩出出来たことはひとえに皆様のお蔭と喜んでおります。トータルで117万円を集めることが出来ました。今年は、皆様にお声を掛けさせて頂きまして、少しずつでも寄付を頂いたことが良かったのかなと思っております。12月に、米山記念館を訪問することが出来ました。残念だったことは、米山奨学生の蔡さんを小島カウンセラーにお願いしたままで、殆ど交流する場を持つことが出来ませんでした。米山月間に卓話をさせていただくにも、カウンセラーに助けていただいて無事終わることが出来ました。また、ロータリーの友にも出ておりましたが、米山奨学金のあり方も少しずつ変わってくるようです。

SAA（青木正弘委員長）

1. 今年度中に水海道クラブも2000回目を迎えることができ、会員皆様のご協力とそのクラブに相応しい気品と風格のある例会が出来たものと思います。
2. 「親睦から奉仕へ」の出発点である例会を楽しもうという事で、会員の皆様からメッセージの回数を数多く頂き、ニコニコボックスへの協力と合わせて例会時に発表しました。
3. 年度始めに会長、幹事より与えられたニコニコボックス目標金額も、会員皆様のご協力により目標を超えて達成する事が出来ました。特に数名の会員の方々は、全例会時にメッセージと共にニコニコにご協力頂き感謝申し上げます。



クラブ奉仕2委員会（染谷正美委員長）

当委員会は、ロータリー活動の中で、最も基礎的な奉仕活動であり、クラブ活性化を図り円滑かつ良好な委員会活動が出来るように、連絡調整を図ってまいりました。本年度中、2000回例会と言う記念例会を祝おうと企画し、実行委員長はじめ委員の方々のご協力を頂き、親睦を深めそして活発に活動して頂き適正なクラブ運営が出来たのかと思います。



プログラム委員会 (染谷正美委員長)

当委員会は、会長メッセージにもあるアンケートを実施し、例会出席のために費やした時間が無駄にならないよう企画・立案し例会を重ねて参りました。特に、ロータリーの月間テーマをメインに各委員長さん方にご協力いただいて、委員会の活動や研究会報告頂き、また新会員のフレッシュな卓話を交えて一年間努めてきました。ただ、当初の目標達成には不十分であり反省しております。会員皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

出席報告 (角田雅宣委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
49名	36名	13名	0名	4名

出席率 82.00%

ニコニコボックス (青木正弘SAA)

- ・誕生祝御礼 会員 山崎(進)・鯉沼 各会員
- ・奉仕の貢献に対する表彰状を頂きました。 隅屋会員
- ・あと3回例会です。最後の力を振り絞ってます。今日もビールをのむぞ！！ 大串会員
- ・米山奨学生 孫 洋さんを一年間宜しく願います。 田上会員
- ・米山奨学生の孫さん、ようこそいらっしゃいました。また、今年度もう秒読み段階になりました。宜しく願います。 鈴木(豊)会員
- ・先日の新旧委員長会議ご苦労様でした。米山奨学生の孫さん、ようこそいらっしゃいました。一年間宜しく願います。田上委員長もカウンセラー宜しく願います。 熊谷会員
- ・米山奨学生、孫さん 宜しく！ 五木田会員
- ・孫さん、よくおいでくださいました。 横山会員
- ・青木(清)次期会長から、おいしいタバコを一本勧められ、禁煙の夢破れました。 石塚(克)会員
- ・良いことがありました。 山崎(進)会員
- ・6月12日、クラブHPに15,000人目の訪問者となりました。 青木(正)会員
- ・例会欠席しました、早退します。 染谷(昭)会員
- ・早退します。 武藤会員
- ・父の葬儀では、いろいろとありがとうございました。 和久事務局

入金計 ¥34,000 累計 ¥2,211,000

会報委員会 委員長 斎藤広巳 副委員長 大塚令昌

6月8日(水) 新旧委員長会議 於:一久苑



News Room

赤道ギニア共和国が 168 番目のロータリー国に

(2005年6月6日)

南アフリカ西海岸の細長い部分と沖合の島々から成る小さい国、赤道ギニア共和国(Equatorial Guinea)(旧名スパニシュ ギニア)の首都マラボ(Malabo)に5月16日、ロータリークラブが創立された事で同国が168番目のロータリー国になりました。

”特に最初に申し上げたいのは、私達が公式に国際ロータリーの一部分になった事です。然し、これから先は容易ではありません。私のクラブは新しいし、ロータリーに関する知識も有りません。更に、この国が必要としている貧しい人達を助けるのに十分な財力も有りません。”とマリア ジュリア アンデメ ドング マング(Maria Julia Andeme Ndong Mangu)初代クラブ会長が語りました。

アンデメ会長によると、クラブ結成は大きな成果です。4年前にスペインのマドリッドへ仕事で出張中に自分の所属する教会の友人達が赤道ギニア共和国の首都、マラボの貧しい人達の生活向上を支援しようと考えましたが、方法が判りませんでした。

友人がマドリッドのロータリークラブを訪問するように奨められ、ロータリークラブの例会に出席してみて、ロータリーこそ、赤道ギニア共和国に、志を同じくする職業人達が母国の恵まれない人達に人道的奉仕を提供する組織であると信ずるようになりました。

アフリカの人達の心温まる支援やチューリッヒの国際ロータリー ヨーロッパおよびアフリカ事務局のクラブ・地区担当職員の支援を得て、2年懸かりで仮クラブの形態を整え、現在、クラブの創立会員は25名で、其の中の7名は他の国から移籍したロータリアンです。

D9150 のヤオヴイ テイゴエ(Yaovoi Tigoe)DGが赤道ギニア共和国に新しくロータリークラブを創るのに努力した一人で、創立に当り、歓迎のメッセージの中で”マラボ ロータリー クラブはD9150 内の他のクラブから完全な支援を得ております”と述べております。クラブの副会長は”政府がロータリーを認めるのに、NPOで人道主義の組織である事を認識して貰い、国から前向きな対応を引き出すのと、色々な手続きに長い時間を必要としました”と語りました。

国連開発計画の現地連絡者によれば、赤道ギニア共和国は、毎年2桁の成長を遂げておりますが、国民の65パーセントが貧困線レベル下で、1日米貨1弗以下の生活をしております。マラボ ロータリー クラブは、貧困改善に意味の有る支援をするチャレンジに立ち向かっております。現在、海外のクラブの支援で、クラブ会員が健康改善や清水給与や教育支援を含む数個のプロジェクトを立ち上げつつあります。マラボ ロータリー クラブに関する情報は下記へ御連絡下さい。

e-mail MariaJulia Andeme Ndong Mangu <mailto:hotelstella@hotmail.com>.

